

私の故郷を訪ねていただいたことへの思い

蔡 春花

今回の延辺ツアーでは通訳兼案内人として参加させて頂きました。準備する段階では正直不安もありました。延辺は私の故郷とは言え、私は日本に十数年住んでいて今は年に数回故郷にいる両親に会いに帰るだけでした。特にツアーの訪問先である旧間島日本総領事館、詩人の尹東柱ゆかりの地である龍井第二中学校は私も行ったことがなかったため不安でしたが、ツアーの前に見学が出来て少しは安心して参加者を迎えることが出来ました。そして、私の最大の心配はトイレでした。事前に訪問先を見学した時はトイレが壊れたり、屋根がなかったりしたので、比較的綺麗なトイレを使用出来るように訪問先の順番を変えるなどの調整を行いました。不安や心配がありましたが、ツアーが始まると思ったより順調に進んで、楽しくて充実した三日間でした。途中でバスの運転手と連絡が取れなかったりなど、予定外のことも起きましたが、参加者の皆さんのご理解を頂いて臨機応変に進めました。

今回のツアーで一番驚いたのは参加者の適応力でした。今回は現地滞在はまる三日間だけでしたが、皆さんはすぐ現地に慣れて、最終日には信号のない道を車がスピードを落とさない状況で私より上手に渡っていて、まるで現地の人のようなようでした。(笑)

もう一つ驚いたのは買い物の少なさでした。延吉市の西市場では激安(モノによっては日本の十分の一位)な値段で色々な物が買えますので、日本の友人が延吉に遊びに来た時はいつもいっぱい買い物してカバンに入れないので郵送で先に日本に送る位でしたが、今回は皆さんの買い物が少なくて驚きました。(笑)ほとんどの方が初めての延辺で不安もあったと思いますが、また機会がありましたら是非ゆっくり回って見て、延吉の日常を楽しんで頂きたいです。

私は日本から遠い私の故郷を訪ねて来られた参加者達がなるべく良い思い出を残して帰国出来るように細心の注意を払いながら準備をしましたが、そんな必要はなかったようです。私が思った以上に皆さんは異国地での適応力が高く、異文化を受け止めて楽しんでいました。逆に私の方が変に神経質になっていて、故郷の素晴らしさを伝えようと必死になっていたことに気がつきました。ありのままの姿を見せるだけで良かったと改めて感じました。今回のツアーに参加出来て私は故郷をより深く知ることが出来ました。これからも延辺で生まれたことに誇りを持って生きて行こうと強く思いました。